

平成27年度大阪市立図書館の目標について【振り返り】

基本目標：

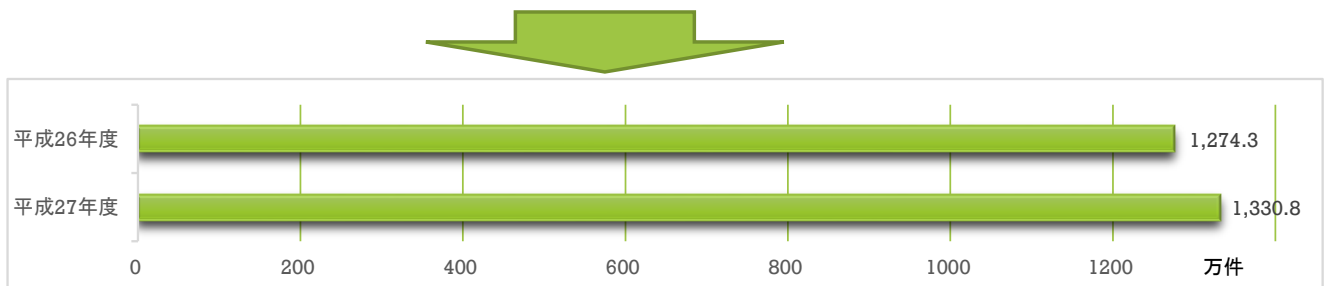
「いつでも、どこでも、だれもが課題解決に必要な情報にアクセス可能な“知識創造型図書館”」を基盤とし、さらなる発展と再構築をめざす。

図書館が、地域の情報活用基盤として調査相談機能の高度化や、電子図書館機能の周知などにより市民の利用を促進し、誰もがいつでも情報や知識を活用して創造性・生産性を高めることができるように支援する。また、地域の多種多様な課題解決に向けた情報収集・学習拠点として、学校をはじめとして、区役所等地域施設、団体など多様なセクターを支援する。

【重点目標】

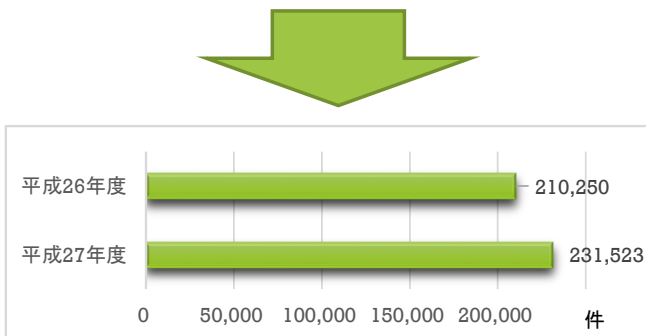
成果目標

図書館への来館者数と図書館ホームページ(トップページ)アクセス件数の合計数を前年度より増加させる

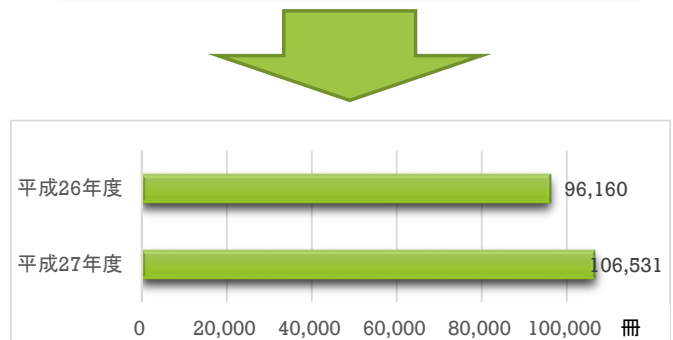


業績目標

市立図書館における商用データベースや電子書籍等の電子図書館機能について、広報や活用講座等の開催を通じて認知度をアップさせ、総アクセス件数20万件をめざす



小・中学校における調べ学習や一斉読書等のために、市立図書館から学校への貸出冊数を前年度より増加させる



図書館や幼稚園・保育所、高齢者福祉施設で活動する読書支援活動ボランティアを対象に、ステップアップ講座を継続して実施するとともに、読書支援活動ボランティアの情報交換や連携が進むよう、すべての区で交流会や情報交換会を実施する。

- ・ステップアップ講座 5回実施
- ・ボランティア活動支援のための交流会を全区で実施

1. 知識を創造する図書館へ

図書館を地域の総合的な知識情報活用基盤として、その利用条件を整備する地域の情報拠点化施策の推進

取組項目	具体的取組	指標・目標値	実施状況	評価
レファレンス（調査相談）・情報サービス・情報発信機能の拡充 課題解決支援（情報検索支援）	・商用データベースの利用促進 ・ビジネス講座の充実 ・O M L I S（館内利用者用検索機）使い方講座の開催 ・国立国会図書館レファレンス協同データベース事業へのレファレンス事例公開 ・メールレファレンスの利用促進 ・横断検索（他機関の所蔵一括検索）の利用促進 ・ディスカバリーサービス（各種データベースの一括検索）の利用促進 ・ホームページ「おおさか資料室」の拡充	・商用データベースアクセス件数増 ・ビジネス講座開催件数維持 ・使い方講座の継続開催 ・レファレンス公開件数の増 ・レファレンス事例アクセス件数の増 ・メールレファレンス受信件数増 ・横断検索のアクセス件数増 ・OMLINサーチのアクセス件数増 ・「おおさか資料室」アクセス件数の増	・商用データベースアクセス件数 133,639件（前年度比3.4%減） ・蔵書検索結果画面からの商用データベースアクセス件数 348件（※外数） ・ビジネス講座開催8件（前年度9件） ・使い方講座の開催7回（前年度4回） ・レファレンス公開件数 1,019件(前年度比5.2%増) ・レファレンス事例アクセス件数 635,658件（前年度比35.8%増） ・メールレファレンス受信件数 178件（前年度比5.3%減） ・横断検索のアクセス件数 348,711件（前年度比0.4%減） ・OMLINサーチのアクセス件数 464,811件（前年度比2.7%減） ・「おおさか資料室」アクセス件数 7,664件（前年度比6.5%減）	△
電子図書館機能の充実	・電子書籍の利用促進 ・デジタルアーカイブの利用促進 ・大量移管資料等のデジタル化による公開 ・音楽配信サービス（ナクソス・ミュージック・ライブラリー）などの利用促進 ・国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの提供	・電子書籍アクセス件数増 ・デジタルアーカイブのアクセス件数増 ・デジタル資料の公開点数の増 ・国立国会図書館歴史的音源提供サービスのアクセス件数増 ・音楽配信サービスアクセス件数増 ・国立国会図書館デジタル化資料送信サービス利用件数増	・電子書籍アクセス件数 25,008件（前年度比9.8%増） ・館外での電子図書館講座開催 ・デジタルアーカイブアクセス件数 27,593件(前年度比27.1%増) ・「なにわの海の時空館」旧蔵資料などのデジタル化約100件完了、インターネット公開に向け調整中。 ・国立国会図書館歴史的音源提供サービスのアクセス件数 3,266件（前年度比45.5%増） ・音楽配信サービスアクセス件数38,940件（前年度比63%増） ・国立国会図書館デジタル化資料送信サービス利用件数 3,077件（H26年11月より開始、前年度月平均比23.5%増）	◎
	・参考図書や基本図書など市民の課題解決に役立つ資料を継続して収集 ・地域資料を収集・整理して提供・保存	・参考図書の冊数増 ・地域資料の冊数増	・参考図書を新たに2,510冊受入し、市民の課題解決に役立つ資料収集を継続 ・地域資料の収集・整理し、6,856冊を新たに提供	

図書館資料の充実	・調べ学習や読書活動支援のための図書の充実 ・図書目録情報の計画的データ整備（データの豊富化） ・移籍による市立他館蔵書の効果的運用	・学校支援用図書の蔵書増 ・市販和図書目録詳細版への遡及更新 ・移籍運用冊数の増	- 調べ学習支援等の児童図書を継続整備（購入受入：2,375冊 前年度比11.5%減） ・市販和図書目録詳細版への遡及完了（約150万タイトル） ・タイ語図書のデータ遡及整備実施 ・移籍運用冊数 615冊（前年度比39.5%減）	○
多文化サービスの展開	・市民と協働しての外国語を母語とする子どもたちが参加できる企画事業の実施 ・日本語に習熟していない人のためのやさしい日本語のOPACの広報・周知 ・外国語資料の充実 ・ハンブルク市図書館との図書交換の継続実施	・外国語の絵本展開催 ・やさしいにほんごモードOPACのアクセス件数増 ・外国語資料の蔵書増 ・図書交換の継続実施	・「多文化にふれるえほんのひろば」の開催（2日間、延べ1,756人） ・やさしいにほんごモード アクセス件数 8,082件（前年度比23.6%減） OPAC検索件数 1,674件（前年度比7.9%増） ・中央図書館の外国資料コーナーの各国語版ページを公開（H27年4月） ・外国語資料ページ開設（H28年2月） ・外国語資料を2,226冊受入れ（購入1,837冊、寄贈389冊） ・ハンブルク市図書館との資料交換（ドイツ語図書 68冊受入、日本語図書50冊送付）実施 ・ハンブルク作家による朗読会（140人）	○
市民への広報の拡充	・広報媒体の効果的活用 ・メールマガジンの内容豊富化と利用促進 ・SNSを使った情報発信の拡大 ・「新着お知らせメール」など情報提供の拡大 ・資料収集に関わる情報公開の拡充	・来館者数の増 ・メールマガジン登録者数増 ・ツイッターの発信回数増 ・「新着お知らせメール」利用者数増 ・「自動車文庫巡回日お知らせメール」の利用者数増 ・全館分野別蔵書統計の公開 ・「資料収集の分野別留意点」の作成・公開	・来館者数は 6,164,277人（前年度比1.0%増） ・HP（トップページ）アクセス件数は 7,143,904件（前年度比7.6%増） ・メールマガジン配信登録数 592件（前年度比55%増） ・メールマガジントップページアクセス件数 6,351件（前年度比6.8%増） ・中央図書館の催し 約180件、地域図書館の催し 約300件等 計1,060件 発信（前年度比33.0%増） ・新着お知らせメール配信登録数 5,330件（前年度比36.3%増） ・自動車文庫巡回日お知らせメール登録件数 約2,250件（前年度比約13%増） ・H27年度分の「類別（部門別）蔵書冊数（全館）」統計は確定後、公開予定 ・「資料収集方針 分類別留意点」の作成・公開（H28.5）	◎

2. 人と、心を育てる図書館へ

学校、学校図書館への支援等、子どもの読書活動の推進
地域と人をつなぐ図書館機能の拡充

取組項目	具体的取組	指標・目標値	実施状況	評価
子ども読書活動の推進	・「第2次大阪市子ども読書活動推進計画」の推進 ・「大阪市子どもの読書活動推進連絡会」の開催	・「大阪市子どもの読書活動推進連絡会」の定例開催	・平成27年度大阪市子どもの読書活動推進連絡会を7月13日に開催	○
	・ホームページ「子どもにすすめる本」の豊富化 ・ホームページ「子どものページ」の開設 ・夏休み期間における子どもに対するとしかんポイント活用による読書推進の実施	・「子どもにすすめる本」のページのアクセス件数増 ・「子どものページ」の開設 ・としかんポイント参加者数の増	・「子どもにすすめる本」のページアクセス件数13,808件（前年度比62.5%増） ・「こどものページ」開設（H27年11月）アクセス件数 7,989件 ・「なつやすみ☆としかんポイント」イベントを実施 参加者数3,259人（前年度比91.7%増） ・0～12歳の貸出冊数1,474,505冊（前年度比3.6%増）	◎
	・ヤング層の利用を増やすための各種催しや企画展の開催 ・学校図書館支援等読書普及にかかる中学校等との連携強化 ・ホームページ「ティーンズのページ」の充実	・ヤング層向きの催しや企画展等の実施 ・中学生、高校生の図書館見学、職場体験学習の受入等、連携事業回数増 ・中学校、高校への職員、ボランティア派遣回数増 ・「ティーンズのページ」のアクセス数増	・第4回「書評漫オグランプリ」（H27年11月）小学生の部：12組出場、来場者233人 中学生以上の部：11組出場、来場者186人 ・13～19歳の貸出冊数463,517冊（前年度比4.7%減） ・図書館見学、職場インタビューなどの受入 19校（前年度10校） ・職場体験学習の受入 94校314人（前年度89校272人） ・学校図書館整備支援等への職員派遣回数 10校14回（前年度7校10回） ・おはなし会等への職員・ボランティアの派遣回数 7校141回（前年度10校138回） ・「ティーンズのページ」のアクセス数 9,605件（前年度比9.4%減） ・「書評漫オグランプリ」のページ開設（H27.4月） ・「リーディのページ」開設（H27年8月）	○
	・学校図書館活用推進事業の実施	・補助員の学校図書館への配置開始（10月～） ・学校図書館の過当たり開館回数増（7回以上）	・補助員を10月より全小中学校に配置 ・学校図書館の過当たり開館回数（小学校平均4.5回→6.5回、中学校平均5.5回→6.1回）	△
学校への支援と連携拡充	・学校への団体貸出や調べ学習支援、学校図書館活性化支援	・団体貸出冊数の増 ・学校図書館活性化事業 各種ボランティア講座の開催	・団体貸出冊数108,718冊（前年度比13.1%増） ・ボランティア講座（学校支援）82回開催 ・学校図書館活性化実践交流会を全区で実施	

	・ホームページ「学校支援のページ」の充実 ・学校園における一部商用データベースの活用支援	・学校支援のページアクセス件数増 ・図書館活用の手引更新 ・学校園からの商用データベースアクセス件数増	学校図書館活用推進事業ページ開設（H28年2月） ・学校支援のページアクセス件数 6,340件（前年度比8.4%減） ・図書館活用の手引きを更新（H28年4月） ・学校園からの商用データベースアクセス件数 370件（前年度比29%増）	◎
障がい児(者)サービスの利用促進	・LLブックの充実整備と利用促進 ・マルチメディアデジ資料の充実と利用促進 ・布の絵本やさわる絵本の活用促進	・所蔵点数の増 ・講座の開催	・LLブック557冊、マルチメディアデジ38点 ・「マルチメディアデジ作ってみよう使ってみよう」「布絵本フェスタ」など開催 26回418人	○
市民協働の促進	・ボランティア養成講座の開催 ・ボランティア間の情報交換等交流の場の拡大 ・ボランティア協働ポータル専用ページの開設	・登録ボランティア2400～2500人継続維持 ・ステップアップ講座を2講座以上実施 ・全区でのボランティア交流会および情報交換会の実施 - ボランティア専用ログインページの開設	・読書活動支援ボランティア2,539人登録 ・幼児期ボランティア入門講座53回（前年度53回）、ブックスタート入門講座2回（前年度2回）を実施 ・保育所、幼稚園等で活動する読書活動支援ボランティアを対象としたステップアップ講座を3回実施、134名が受講 ・中央図書館で2回開催。いずれかの回に全区からボランティアが参加し、交流・情報の交換 ・ボランティアのページアクセス件数7,615件（前年度比17.5%増） ・ボランティアグループ紹介ページ開設（H27年6月） ・ボランティア専用ログインページ開設（H28年3月）※6/1現在調整中	○
	・子育て支援施設や高齢者福祉施設と連携し幼児期・高齢者読書環境整備事業の一層の周知と継続実施 ・各区における絵本展開催支援 ・市民協働事業 OneBookOneOSAKAの継続・拡充	・貸出冊数の前年度比増 ・ボランティア派遣回数維持 ・絵本展開催に向けた支援回数の増 ・OneBookOneOSAKA投票数の増・関連イベントの実施	・市内幼稚園・保育所・子育て支援施設など388施設に年約4か月間貸出。計42,371冊（前年度比0.8%減） ・市内幼稚園・保育所・子育て支援施設など369施設にボランティアを派遣し、絵本の読み聞かせ・パネルシアターなどのおはなし会実施。ボランティア派遣回数820回（前年度比4.3%増） ・絵本セットや面展台などを貸出、絵本展開催を支援。支援件数64件（前年度67件） ・OneBookOneOSAKAページアクセス件数 22,712件 ・OneBookOneOSAKA投票数 12,512票（前回9,004票） ・関連イベントの実施 「文紙MESSE」「夏休み！こども冒険博Ⅱ」「セレッソ大阪ホームゲーム」で投票実施	○

3. 効率的な運営体制の確立

効率的で効果的な図書館の管理運営の推進

取組項目	具体的取組	指標・目標値	実施状況	評価
人材育成の推進	・司書の専門性向上と人材育成の充実に必要な研修等の実施 ・外部研修への司書の派遣	・研修参加者数増 ・派遣回数維持	・全職員を対象とした研修 11回実施（前年度11回） ・担当者別研修 24回実施（前年度24回） ・府立図書館、文部科学省、国立国会図書館等主催の外部研修に司書を派遣 延べ79回（前年度 延べ86回）	○
自主財源の確保及び経費の節減	・新たな財源確保や運営費の節減を図るための図書館施設や広報物を利用したの広告事業への取り組み	・新たな広告事業実施	・平成28年度図書館カレンダーを広告事業により作成 ・トップページ上部や地域図書館ページのHPバナー広告募集開始（H28年2月～）	△
図書館事業に関わる成果（アウトカム）の把握	・ご意見箱の設置と、主な意見に対する回答 ・利用者アンケートの実施 ・講習会・講座受講者アンケートの実施	・各種アンケートの実施 ・分析結果の公表	・全館で利用者アンケートの実施（3月24日～27日）インターネット利用環境についてのアンケートを同時実施 ・講習会・講座受講者アンケートの実施 ・分析結果の公表	○
利用環境の改善	・より快適に図書館を利用していただけるよう、施設整備や案内表示の見直し	・Wi-Fi環境の拡充 ・中央図書館トイレ改修 ・案内板の更新	・公衆無線LANサービスを全館に拡充する計画は28年度中の整備に延期 ・閲覧室内の掲示物の更新、駐輪場の案内掲示追加改善	△
他機関との連携強化	・国立国会図書館や府立図書館、隣接市の図書館等と連携強化	・新たな連携策の検討・実施	・OSAKA Book One Project ・まちライブラリー大阪ブックフェスタ+ 2015（全館で参加）	○

（評価：◎→目標以上 ○→目標どおり △→目標以下 ×→成果なし）